

兵庫県豊岡市但東町

# 豊岡市立日本・モンゴル民族博物館年報

第 18 号 (平成 28 年度)

Annual Report of the JAPAN MONGOLIA Folk Museum  
No. 18 (for the fiscal years of 2016)

# あ い さ つ

平成 28 年度は、当館が開館して 20 年の節目の年でした。この間、モンゴル民族の文化・歴史・宗教などを常設展示し、楽しみながら異文化を学び国際理解を深める体験型の国内唯一の博物館としてモンゴルを紹介してきました。

また、当市とモンゴルの交流の輪を広げ深めていく国際交流の拠点としての役割を担ってまいりました。

今年度は、開館 20 周年記念事業として民族音楽コンサート、記念フォーラム、また地域あげての「しば・モンゴル宝まつり」、「TANTO の夜空と共に」を開催していただき、共に祝っていただきました。主な記念事業には、駐日モンゴル国特命全権大使、在大阪モンゴル国総領事、モンゴル・豊岡シルクロード友好協会理事長の来臨を得て、また関西在住のモンゴルの方々をお招きして開催しました。

展示については、常設展示に加え企画展を昨年度からの継続を含め 3 回開催し、通算で 71 回となり、モンゴル・日本の文化・歴史を広く紹介してきました。

国際交流では、記念フォーラム等に参席を得るべくモンゴル国友好訪問使節団を 2 年連続して受入れました。また、在日モンゴル国政府機関と協力・連携を強め友好関係を密にするとともに、国内で開催されたハワリンバイヤルなどモンゴルのまつりに出展して、PR 活動や交流を深めました。

終わりに、開館 20 周年を契機に博物館本来の使命である文化振興はもとより、モンゴルの交流団体、政府機関や在日モンゴルの方々との連携をより強めて、市民レベルの交流の拡大・浸透を図るとともに、地域団体と協同した取組みを進め、地域や国際交流の拠点としての日本・モンゴル民族博物館を目指します。

平成 29 年 3 月 31 日

豊岡市立 日本・モンゴル民族博物館  
館 長 大 谷 均



開館 20 周年記念フォーラム

# 目 次

I. 平成 28 年度概要 . . . . .	1	VII. 管理運営 . . . . .	13
II. 展覧事業 . . . . .	2	1. 組織・職員	
1. 常設展		2. 予算の概要（決算額）	
2. 企画展		3. 利用状況	
III. 資料収集保存事業 . . . . .	4	4. 施設管理	
1. 寄贈		5. 博物館協力会	
2. 資料の貸出		6. 各種委員会委員等の受諾	
3. 資料の燻蒸		7. 博物館ネットワーク	
IV. 普及教育事業 . . . . .	5	8. 博物館日誌抄	
1. 出前授業		9. お客様の声（抜粋）	
2. 来館受入授業		10. 豊岡市立日本・モンゴル民族博物館 の設置及び管理に関する条例	
3. 体験教室、講座の開催		11. 施設概要	
4. イベントの開催		12. 交通案内	
5. トライやる・ウィークの受入れ		13. 利用案内	
6. 情報の発信と公開			
V. 国際交流事業 . . . . .	8		
1. モンゴル国との国際交流			
2. モンゴル国友好訪問使節団の受入れ			
VI. 開館 20 周年記念事業 . . . . .	10		
1. ミュージアムコンサート			
2. 記念フォーラム及び祝賀会			
3. しぼ・モンゴル宝まつり & 2016TANTO の夜空と共に			
4. まるごとモンゴル雛まつり			



# I. 平成 28 年度概要

開館 20 周年を迎えた今年度は、記念事業として春・夏に「民族音楽コンサート」、秋に駐日モンゴル国特命全権大使及びモンゴル・豊岡シルクロード友好協会理事長など臨席のもと「モンゴルと日本、ひろがる交流の未来」をテーマに記念フォーラムを、閉会後には祝賀会を開催した。

晩秋には、当館内外を会場に地域あげての祭りを「しば・モンゴル宝まつり」として地域づくり団体と共催、さらに市商工会青年部但東支部主催イベント「TANTO の夜空とともに」が開催（当館後援）された。これらに、在大阪モンゴル国総領事はじめ関西在住のモンゴルの方々をお招きし、地域の方々とともに開館 20 周年を祝っていただいた。

また、第 6 回となる「まるごとモンゴル雛まつり」など例年実施している事業についても、内容の充実を図り記念事業として実施した。

国際交流事業では、モンゴル国友好訪問使節団（中学生年齢相当 6 名、引率者 3 名、計 9 名）を 2 年連続して受入れ、記念フォーラムへの参席はじめ、5 家庭にホームステイ、中学校の授業・部活動での交流、海・農業の体験などを通じて大いに交流を深めた。

また、在日モンゴル国大使館及び在大阪モンゴル国総領事館を訪問し、情報交換、当館活動への協力や連携を相互に確認し、記念事業に臨席を得るなど友好関係の強化に努めた。

企画展示事業では、前年度から継続した「カザフの天幕 - 文様に込められた家族への思い - 」に続き、「満州『大兵庫開拓団』と高橋村」、「村から町へ ～ 豊岡市域における「昭和の大合併」～ 」の地域の近代史をテーマに 2 回開催し、元開拓団員の当時を語る会なども併せて催した。

教育普及活動では、市内各小学校への出前授業、市内外小学校の見学・体験受入れや各種ものづくり体験教室を開催し教育普及に努めた。

通常の業務では、展示活動や資料収集・調査・施設管理・教育普及活動を中心に行い、各種機関・団体等との連携をより密にする取組みを進めた。

館所蔵品の台帳整備（デジタル化）は、一昨年から着手しているがモンゴル関係物品（絵画を除く）の写真撮影・採寸及び台帳データベース入力ほぼ終え、来年度以降は絵画に着手する予定である。

さらに、今年度もボランティアグループの協力により当館前広場にオープンガーデン・案山子を設置し、また「どんど焼き」などを地域づくり団体や地区公民館との共同事業で実施した。

市では、小学校区単位に住民による新しい地域コミュニティづくりがスタートしており、より地域と連携・協働した地域づくりへの参画が必要となっている。

入館者数については、開館 20 周年記念事業実施による増、高規格道路網整備に伴う入込み数の減などにより、対前年度比 100.5%の微増となった。諸般の厳しい状況下にはあるが、入館者数増の取組みが大きな課題である。

## Ⅱ. 展覧事業

### 1. 常設展

#### (1) 常設展示の構成

博物館の常設展示は、A棟のたんとうの森、B棟のアジアの歴史と風土・モンゴル草原のいのり、C棟のモンゴル草原の暮らしと文化、伝承文化体験交流館の豊岡市たんとうの暮らしから構成されている。

- ①たんとうの森・・・人口樹林を配し、平安時代前期の朽木仏像5体を展示
- ②アジアの歴史と風土・・・新石器時代から近代までの歴史資料を展示
- ③モンゴル草原の暮らしと文化・・・ゲルと呼ばれる移動式住居を中心に、衣・食・住など様々なテーマに分けて展示
- ④モンゴル草原のいのり・・・チベット仏教の寺院を再現し、仏像・仏具などを展示
- ⑤伝承文化体験交流館・・・山里の暮らしと文化をテーマに、豊岡市但東町の歴史・住まい・暮らし・民話などを展示

#### (2) 常設展の更新

当館では、開館10周年に企画した特別展を契機に、常設展の展示替えを行い、より利用しやすいように工夫してきた。平成20年度からは、部分的な手直しにとどめており、平成28年度は次の部分について実施した。

- ①ホールに小型ゲルを設置、内部には机・椅子を配置して、入館時からモンゴルを体感できるようにした。

#### (3) 屋外展示

- ①山羊小屋…屋外の小屋に山羊2頭（内1頭は29年2月下旬死亡）を飼育し公開している。
- ②騎馬像（チンギス・ハーン）1体及び馬像2体
- ③ボランティアグループ「そよ風」の協力により、博物館前広場に平成24年度から毎年オープンガーデンを設置し、公開している。来館者からも好評で、今後も継続する予定である。

#### (4) 展示解説の積極的な促進

展示資料をより深く理解いただくため、希望者には職員が館内のガイドを行っている。見学の一助となるよう、利用者の興味や目的に沿った分かりやすい解説を心掛けている。

### 2. 企画展

#### (1) 第69回企画展 カザフの天幕 - 文様に込められた家族への想い -

平成27年12月13日～平成28年5月10日 37日間(見学者数 1,237人)

通算 124 日間 (見学者数 4,381 人)

平成 28 年 4 月以降引き続き、モンゴル国西部のカザフに伝わる、女性が家族の健康・幸福を願う気持ちを込めて刺繍し織り上げた装飾品など、モンゴルの職人技と手仕事を紹介した。(協力：NPO 法人北方アジア文化交流センターしゃがあ)



(2) 第 70 回企画展 満州「大兵庫開拓団」と高橋村

平成 28 年 6 月 26 日～平成 28 年 9 月 20 日 75 日間 (見学者数 1,970 人)

昭和 19 年春、移住を推し進めた当時の国策に従い、満州国に入植した高橋村 (団員 479 名 現在の豊岡市但東町高橋地区) の「第十三次大兵庫開拓団」の残された当時の資料、関係者の証言、現地の写真や帰国後のおかれた環境などをあわせ開拓団の軌跡を紹介した。また、元開拓団員の方によるお話を 2 回開催した。(協力：高橋村満州開拓団の歴史を語り継ぐ会)



(3) 第 71 回企画展 村から町へ ～ 豊岡市域における「昭和の大合併」～

平成 28 年 9 月 25 日～平成 29 年 5 月 30 日 3 月末現在 158 日間 (見学者数 6,068 人)

現豊岡市の旧 1 市 5 町は、約 60 年前の昭和 30 年頃、全国各地の村や町が合

併した「昭和の大合併」と呼ばれる時期に誕生した。旧市町それぞれの合併計画、合併に向けた話し合いの内容や動向など、新しい市や町が生まれ出されていった過程を紹介した。



### Ⅲ. 資料収集保存事業

当館の所蔵資料は、寄贈を受けたモンゴル民族及び考古資料を中心に、旧但東町民俗資料館が収集保管してきた資料、またモンゴル国内や日本各地からの寄贈、寄託及び購入したもので構成されている。

平成 26 年度より台帳電子化整備及び資料の確認・調査に着手しており、現在モンゴル民族資料（絵画を除く）については、約 5 千点を確認している。

来年度以降においても、引き続き台帳整備等を進めることにしている。

#### 1. 寄 贈

##### (1) 寄贈資料（敬称略・順不同）

###### 【個人】

- ① D. デルゲルツォグト在大阪モンゴル国総領事  
・ 子供（男）用デール 2 着、子供用帽子 1 点

###### 【団体】

- ② 在大阪モンゴル国総領事館  
・ チンギスハーン肖像画 1 点
- ③ 2016 モンゴル国友好訪問使節団（モンゴル国）  
・ 大人用デール 2 着、ゴダル（靴） 1 足、鞍の置物 1 点
- ④ NPO 法人北方アジア文化交流センターしゃがぁ理事長西村幹也  
・ カザフ・ツァータン生活用具 8 点

#### 2. 資料の貸出

- (1) ミュージアムパーク茨城県自然博物館  
山羊剥製、羊剥製、鞍（馬用）、デール、チーズ模型以下 29 点
- (2) 市商工会青年部但東支部  
ゲル 1 棟（屋外用）
- (3) コミュニティなかすじ  
ゲル 1 棟（屋外用）
- (4) NPO 法人コミュニティ日高  
デール 6 着（大人 4、子供 2）、帯 6 本、帽子 4、ゲル模型（1、（小）1）、羊毛鞆、マネキン 2 体
- (5) 京丹後市立久美浜小学校  
馬頭琴 1 棹、デール 2 着、帽子 2 点
- (6) 忽那るみ子（西宮市北名次町）  
デール 2 着、帯 2 本、帽子 2 点

### 3. 資料の燻蒸

平成 28 年度は、害虫駆除センター・クリーン有限会社に委託して、全館を対象にピレスロイド系殺虫剤の空中散布、有機リン系殺虫剤の乳剤噴霧をそれぞれ 2 回実施し、収蔵庫内には有機リン系殺虫剤の蒸散剤を 3 回設置して、殺虫・防虫処理を実施した。

## IV. 普及教育事業

### 1. 出前授業

学校からの依頼に応じて、学校での授業に職員を派遣する出前授業を平成 12 年度から実施している。授業では教員と協同し、持参した博物館資料を活用して、児童・生徒の理解を助けるよう工夫した。市教育委員会の方針に沿い、豊岡市内の小学校 22 校を対象に出前授業を実施した。

日付	学校名	内容
① 10 月 18 日	豊岡市立三江小学校 2 年生 31 名	「スーホの白い馬」
② 1 月 17 日	豊岡市立静修小学校 2 年生 10 名	「スーホの白い馬」
③ 1 月 20 日	豊岡市立三方小学校 2 年生 26 名	「スーホの白い馬」
④ 1 月 26 日	豊岡市立日高小学校 2 年生 97 名	「スーホの白い馬」
⑤ 1 月 27 日	豊岡市立豊岡小学校 2 年生 63 名	「スーホの白い馬」
⑥ 1 月 30 日	豊岡市立港西小学校 1, 2 年生 21 名	「スーホの白い馬」
⑦ 1 月 31 日	豊岡市立奈佐小学校 2 年生 11 名	「スーホの白い馬」
⑧ 2 月 2 日	豊岡市立寺坂小学校 2 年生 5 名	「スーホの白い馬」
⑨ 2 月 6 日	豊岡市立小坂小学校 2 年生 14 名	「スーホの白い馬」
⑩ 2 月 7 日	豊岡市中神美小学校 2 年生 27 名	「スーホの白い馬」
⑪ 2 月 9 日	豊岡市立福住小学校 2 年生 28 名	「スーホの白い馬」

⑫	2月10日	豊岡市立合橋小学校	2年生 10名	「スーホの白い馬」
⑬	2月13日	豊岡市立府中小学校	2年生 34名	「スーホの白い馬」
⑭	2月14日	豊岡市立竹野南小学校	2,3年生 10名	「スーホの白い馬」
⑮	2月16日	豊岡市立小野小学校	2年生 13名	「スーホの白い馬」
⑯	2月17日	豊岡市立新田小学校	2年生 30名	「スーホの白い馬」
⑰	2月21日	豊岡市立田鶴野小学校	2年生 28名	「スーホの白い馬」
⑱	2月23日	豊岡市立港東小学校	2年生 9名	「スーホの白い馬」
⑲	2月24日	豊岡市立八条小学校	2年生 67名	「スーホの白い馬」
⑳	2月28日	豊岡市立城崎小学校	2年生 20名	「スーホの白い馬」
㉑	3月2日	豊岡市立中筋小学校	2年生 23名	「スーホの白い馬」
㉒	3月3日	豊岡市立五荘小学校	2年生 110名	「スーホの白い馬」
計 22校 687名				

## 2. 来館受入授業

日付	学校名	内容
① 7月14日	豊岡市立資母小学校	1,5,6年生 30名 企画展見学・調べ
② 12月1日	朝来市立梁瀬小学校	2年生 33名 「スーホの白い馬」
③ 2月2日	豊岡市立高橋小学校	2年生 8名 「スーホの白い馬」
④ 2月14日	京丹後市立網野北小学校	2年生 34名 「スーホの白い馬」
⑤ 2月16日	京丹後市立高龍小学校	2年生 28名 「スーホの白い馬」
⑥ 2月20日	養父市立宿南小学校	2年生 8名 「スーホの白い馬」
⑦ 2月21日	京丹後市立丹波小学校	2年生及び 「スーホの白い馬」
⑧	京丹後市立長岡小学校	2年生計 22名 「スーホの白い馬」
⑨ 2月23日	京丹後市立甲山小学校	2年生 28名 「スーホの白い馬」
⑩ 2月28日	京丹後市立弥栄小学校	2年生 24名 「スーホの白い馬」
⑪ 3月2日	京丹後市立大宮南小学校	23名 「スーホの白い馬」
⑫ 3月9日	京丹後市立いさなご小学校	2年生 44名 「スーホの白い馬」
⑬ 3月10日	京丹後市立新山小学校	2年生 34名 「スーホの白い馬」
⑭ 3月13日	京丹後市立網野南小学校	2年生 33名 「スーホの白い馬」
計 14校 349人 (市内2校38人 市外12校311人)		

## 3. 体験教室・講座の開催

開催日	教室名	参加者数
① 6月4日	風鈴に絵を描こう	31名
② 7月25日	切り絵を使ってオリジナル うちわを作ろう	7名
③ 7月28日	ゴム鉄砲でヒーローになろう	8名
④ 7月31日	やきもの	11名
⑤ 8月2日	モザイクで絵を描こう	17名

⑥12月4日	やきもの	13名
⑦3月5日	羊のマスコットづくり	82名
	計7教室	169名

#### 4. イベントの開催

開館20周年記念事業に加え、例年実施している事業についても、内容をより充実し記念事業として実施した。(後掲VI. 開館20周年記念事業参照)

#### 5. トライやる・ウィークの受け入れ

平成28年度はなし。

#### 6. 情報の発信と公開

博物館を有効に利用できるよう、博物館活動に関する様々な情報を発信していくことは重要な活動のひとつである。最近はインターネットによる情報発信を行っており、平成25年に開設したフェイスブックも重要な手段となっている。

博物館事業の広報に留まらず、様々なメディアを通じて積極的に情報を発信するよう努めている。

##### (1) 博物館の広報活動

###### ①博物館事業案内などの主な定期発送先

市内各小学校、各地区公民館、振興局、公設民営施設及び報道機関など。

###### ②報道機関への情報・資料提供

###### ③旅行会社への情報・資料提供

###### ④ハワリンバイタル2016(春のモンゴル祭り)及び草原の風2016(モンゴル秋の祭り)に出展し当館のPRを行った。

###### ⑤どんど焼き(資母地区公民館、資母まちづくり協議会等と共催)

##### (2) インターネットによる情報提供

###### ①電子メール

###### ②ホームページ・フェイスブック

インターネットの普及・利用者の増加に対応し、博物館もホームページ及びフェイスブックを開設している。

<http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>

<https://www.facebook.com/monmuseum>

ホームページの内容は下記のとおりである。

- ・博物館の沿革と経緯
- ・交通案内・利用案内
- ・収蔵資料
- ・展示室紹介
- ・国際交流

- ・ イベント情報
  - ・ ミュージアムショップのご案内
- ホームページ・フェイスブックの更新や追加は、催し物案内など定期的に行うもののほか、最新の情報掲載を随時行っている。

## V. 国際交流事業

### 1. モンゴル国との国際交流

モンゴル国との交流については、隔年で中学生主体の友好訪問使節団の受入れ・派遣、駐日モンゴル国政府機関等との情報交換や関係強化、豊岡市国際交流事業への協力、各種イベントの開催など、多くの方々との関わりのもと継続して行っている。

#### (1) ハワリンバヤル 2016 (モンゴル春祭り) 出展

4月30日～5月1日、在日モンゴル留学生会主催のハワリンバヤル 2016 (モンゴル春祭り) が都立光が丘公園 (東京都練馬区) で開催された。当館も出展し、参加団体との情報交換や来場者にPRなどを行った。

#### (2) 駐日モンゴル国大使館訪問

5月2日、大使館を訪問して、E. サラントゴス公使、S. ボロルチメグ一等書記官、Ch. ソロンゴ理事官と面談し、博物館の概要・活動説明、20周年記念フォーラムへの大使招聘、東京五輪大会ホストタウン事業、大相撲モンゴル国出身力士企画展構想などを説明し、協力依頼及び情報交換等を行った。

#### (3) 在大阪モンゴル国総領事館訪問

8月29日、総領事館を訪問して、D. デルゲルツォグト総領事、A. テルゲルマ一副領事、Ch. ソロンゴ三等書記官と面談し、開館20周年記念「フォーラム」及び「しぼ・モンゴル宝まつり」への招聘、モンゴル国使節団受入れ、大相撲モンゴル国出身力士企画展案などを説明し、協力依頼及び情報交換等を行った。

#### (4) 草原の風 2016 モンゴル秋祭り出展

11月27日、在大阪モンゴル国総領事館主催の草原の風 2016 (モンゴル秋祭り) が靱公園西園 (大阪市西区) で開催された。当館も出展し、参加団体との情報交換や来場者にPRなどを行った。

#### (5) 在大阪モンゴル国総領事館の存続を求める書簡の送付

12月22日、モンゴル国の社会・経済状況の悪化により、政府が予算節約体制に変わり、大阪総領事館をはじめ海外出先機関の閉鎖を閣議決定されたことを受け、大阪府、兵庫県及び大阪市などとともに、モンゴル国外務大臣、モンゴル国家大会議議長あてに「在大阪モンゴル国総領事館の存続を求める書簡」

を作成し、外務省大阪分室を通じて送付した。

(6) 在日モンゴル国人との交流促進

在日モンゴルの方々と当館・地域との交流の輪を広げるため、開館 20 周年記念フォーラム、記念祝賀会及びしぼ・モンゴル宝まつりに、関西在住のモンゴルの方々を招き交流した。

2. モンゴル国友好訪問使節団受入れ

今年度は、当市から友好訪問使節団を派遣する年であったが、開館 20 周年記念行事に招待するため、前年度に続き受入れを行った。

使節団は、モンゴル国の中学生 6 名、団長以下引率者 3 名の計 9 名が 9 月 29 日（木）～10 月 4 日（火）の間滞在し、市内 5 家庭にホームステイ、記念フォーラム等記念行事参加、但東中学校授業・部活動の体験・交流、施設訪問・見学、海の体験などを通して交流を深めた。

(1) 使節団

- 団 長 S. デムベレル（モンゴル・豊岡シルクロード友好協会理事長）  
副団長 D. サラントゥヤ（オブス県ウランゴム工業カレッジ社会事業相談員）  
事務局 D. オルトナサン（モンゴル伝統画家）  
団 員 G. ビルグーンオチル（ウランバートル市私立ナラン小中高校 9 年生）  
〃 G. サイハンビレグ（ウランバートル市私立ナラン小中高校 8 年生）  
〃 A. ホラン（ウランバートル市私立ナラン小中高校 8 年生）  
〃 Z. ツァサンゴ（ウランバートル市私立ナラン小中高校 10 年生）  
〃 B. ゲレルトヤ（ウランバートル市私立ナラン小中高校 10 年生）  
〃 R. エルヘムバヤル（ウランバートル市私立ナラン小中高校 9 年生）

(2) 日程

- 9 月 29 日 関西国際空港到着入国、豊岡市到着、歓迎交流会（ホテル幸祥泊）  
9 月 30 日 城崎マリンワールド、竹野スノーケルセンター、副市長表敬訪問、（ホストファミリー宅泊）  
10 月 1 日 モンゴル博物館見学・体験、20 周年記念フォーラム参加、記念祝賀会（引率者 3 名出席）、（ホストファミリー宅泊）  
10 月 2 日 ホストファミリーと交流（ホストファミリー宅泊）  
10 月 3 日 但東振興局訪問、さつま芋掘り体験、但東中学校と交流・体験（生花、剣道）、さよならパーティ（ホテルシルク温泉やまびこ泊）  
10 月 4 日 関西国際空港からモンゴル国に帰国（韓国・仁川経由）  
ホームステイは 3 泊（9/30～10/2）、ホストファミリー 5 家庭（町内 2、出石 1、豊岡 2）

### (3) 交流の様子



海の体験



農業体験（さつまいも掘り）



授業体験（但東中学校）



さよならパーティ

## VI. 開館 20 周年記念事業

平成 28 年度は、日本・モンゴル民族博物館が平成 8 年 11 月 3 日に開館して 20 周年を迎え、民族音楽コンサート、フォーラムや地域との共催行事などの記念事業を実施した。

### 1. ミュージアムコンサート

#### (1) モンゴル民族音楽コンサートⅠ 平成 28 年 4 月 24 日（日）

たんとうチューリップまつり期間中の午後に、馬頭琴と喉歌の第一人者と言われている嗟峨治彦氏のライブコンサートを実施した。演奏の合間に「スーホの白い馬」の朗読も催された。

#### (2) モンゴル民族音楽コンサートⅡ 平成 28 年 7 月 10 日（日）

当館と交友の深い福井則之氏（馬頭琴）、北野隆太氏（打楽器）及び山田紗耶加氏（鍵盤楽器）を迎え、トワイライトコンサートを実施した。

#### (3) モンゴル民族音楽コンサートⅢ 平成 28 年 11 月 5 日（土）及び 6 日（日）

しば・モンゴル宝まつりの前日及び当日の午前・午後に、馬頭琴二重奏（ネ

ルグイ、ドルジパラム氏) コンサートを実施した。

(4) 民族音楽コンサートⅣ 平成 29 年 3 月 5 日 (日)

2017 まるごとモンゴル雛まつりにおいて、馬頭琴・ドムブラ (ドルジバラム、クグルシン氏) ミニコンサートを午前、午後に実施した。

2. 開館 20 周年記念フォーラム及び祝賀会

(1) 開館 20 周年記念フォーラム 平成 28 年 10 月 1 日 (土) (豊岡市但東市民センターホール)

当館の開館 20 周年を、さらにモンゴル国との交流の輪を広げ、日本におけるモンゴルのポータルとなるべき契機にするため、S. フレルバータル駐日モンゴル国特命全権大使閣下はじめ、モンゴル・豊岡シルクロード友好協会、国内のモンゴル国交流団体及び在日モンゴル国出身者の方々をお招きしてフォーラムを開催した。フォーラムは、「モンゴルと日本、ひろがる交流の未来」をテーマに、第 1 部では駐日モンゴル国特命全権大使の基調講演、第 2 部ではパネリスト 3 名からそれぞれの交流内容、今後の交流の方向性や発展・連携のあり方など発表のあと、総括がなされた。



基調講演 駐日モンゴル国大使



パネル討論



パネリスト



モ国使節団員参加

(2) 記念祝賀会 平成 28 年 10 月 1 日 (土) (ホテルシルク温泉やまびこホール)  
記念フォーラム出演者、出席者及び在日モンゴル国人の方々一同に会し、

モンゴルとの交流について意見・情報交換や懇親を深めた。

### 3. しぼ・モンゴル宝まつり&2016TANTOの夜空と共に

#### (1) 前日祭 平成28年11月5日(土)

西村幹也氏の記念トーク「モンゴル、行って見たらほんとはこんなところ」及び馬頭琴二重奏コンサートを開催した。

#### (2) 当日祭 平成28年11月6日(日)

##### ①第1部 しぼ・モンゴル宝まつり

地域づくり団体と当館前広場及び館内において共催した。幼児から高校生によるステージイベント、バザー、農産物販売、地域の方の作品展示、お楽しみ抽選会など多彩な催しがあり、多くの来場者で賑わった。当館は、在大阪モンゴル国総領事から感謝状授与、馬頭琴二重奏コンサートはじめフェルトの羊づくり・モンゴル文字書写体験、モンゴル料理教室、シャガイでおはじき、モンゴルの家庭料理・物産販売や菓子の試食などを催した。

##### ②第2部 TANTOの夜空と共に

市商工会青年部但東支部により当館周辺及び館内で開催され、当館は後援した。フリーマーケットを皮切りに、モンゴル相撲作法講習会及びモンゴル相撲大会、ステージイベント、お菓子まき、ペットボトルツリー点灯式、花火大会などが催され、子ども達を中心に賑わった。



しぼ・モンゴル宝まつり



在大阪モンゴル国総領事から感謝状授与



モンゴル相撲大会



TANTOの夜空と共に ペットボトルツリー点灯

#### 4. まるごとモンゴル雛まつり 平成 29 年 3 月 5 日 (日)

第 6 回を迎えたまるごとモンゴル雛まつりは、馬頭琴・ドムブラミニコンサート、シャガイ競馬ゲーム大会、モンゴル文字書写・羊マスコットづくり体験、モンゴルのお茶・菓子サービス、民族衣装試着、女の子に雛あられプレゼントなどを催し、多くの入館者で賑わった。



馬頭琴&ドムブラコンサート



シャガイ競馬ゲーム大会



羊マスコットづくり&モンゴル文字書写体験



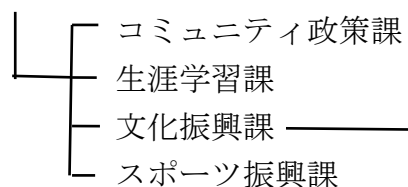
馬頭琴演奏体験

## VII. 管理運営

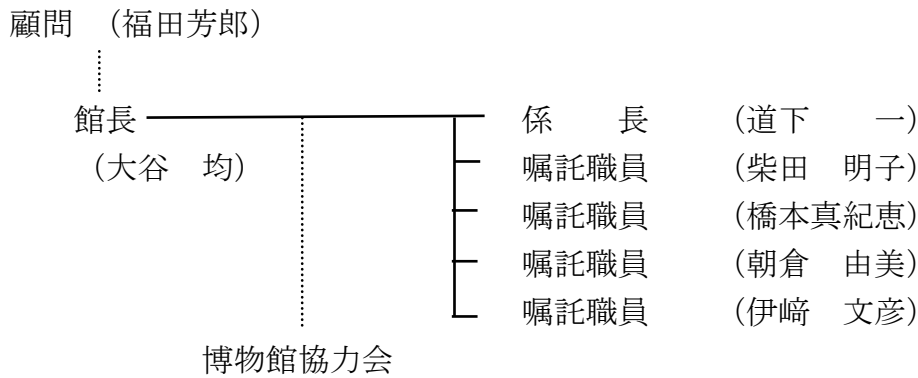
### 1. 組織・職員 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

#### (1) 組織

豊岡市地域コミュニティ振興部



- ├── 豊岡市立日本・モンゴル民族博物館
- ├── 豊岡市立美術館「伊藤清永記念館」
- ├── 豊岡市立豊岡市民会館
- └── 豊岡市立出石文化会館 (ひぼこホール)



(2) 職員

館長	大谷 均	(平成 27 年 4 月～ 嘱託職員)
係長	道下 一	(平成 26 年 4 月～)
嘱託職員	柴田 明子	(平成 13 年 4 月～)
嘱託職員	橋本真紀恵	(平成 17 年 4 月～)
嘱託職員	朝倉 由美	(平成 25 年 4 月～)
嘱託職員	伊崎 文彦	(平成 27 年 4 月～)

(3) 事務分掌

大谷 均	管理運営に関すること。モンゴル国との国際交流、モンゴル関係団体との連絡調整、文化財の調査研究、文化財保護に関すること。
道下 一	管理運営に関すること。モンゴル国との国際交流、モンゴル関係団体との連絡調整に関すること。予算編成及び歳入歳出に関すること。企画展示、ホームページ等の管理、館の庶務に関すること。
柴田 明子	歳入歳出及び経理、受付及び案内、常設展示・企画展示に関すること。職員の勤務管理に関すること。書籍及び館内外の管理に関すること。
橋本真紀恵	受付及び案内、各種教室・講習会の開催、図書及び館内外の管理に関すること。常設展示・企画展示に関すること。博物館協力会に関すること。文書管理に関すること。
朝倉 由美	常設展示・企画展示に関すること。収蔵品台帳に関すること。歳入歳出及び経理、受付及び案内、書籍及び館内外の管理に関すること。館の庶務及び文書管理に関すること。
伊崎 文彦	常設展示・企画展示に関すること。歳入歳出及び経理、受付及び案内、ミュージアムショップに関すること。館の庶務及び管理に関すること。

2. 予算の概要（決算額） 単位：千円（百円以下四捨五入）

〔人件費〕 22,490

- ① 報酬 9,895（嘱託職員5名）
- ② 給与 4,158（一般職員1名）
- ③ 職員手当等 5,265（扶養手当78、通勤手当979、時間外勤務手当547、期末手当3,042、勤勉手当619、住居手当0、こども手当0）
- ④ 共済費 3,172

〔管理費〕 7,329

- ① 賃金 105
- ② 旅費 5（普通旅費）
- ③ 需用費 4,528（消耗品費195、燃料費100、印刷製本費49、光熱水費3,438、修繕料723、飼料費23）
- ④ 役務費 363（通信運搬費234、手数料68、保険料等61）
- ⑤ 委託料 1,677（電気保安点検178、自動ドア点検57、消防施設点検25、空調設備点検216、芝生管理100、清掃管理216、警備259、電気使用料監視52、資料燻蒸150、除雪424）
- ⑥ 使用料 498（自動車借上料334、土地借上料22、機器借上料29、用品借上料79、テレビ視聴料34）
- ⑦ 備品購入費 143（歩行型エンジン式芝刈機）
- ⑧ 負担金 10

〔事業費〕 4,109

- ① 報償費 1,174
- ② 旅費 224（普通旅費）
- ③ 需用費 1,445（消耗品費1,028、食料費7、印刷製本費335、修繕料75）
- ④ 役務費 330（通信運搬費65、広告料265）
- ⑤ 委託料 884（開館20周年記念事業開催業務等）
- ⑥ 使用料 52（会場借上料10、通行料42）

※別途、モンゴル国友好訪問使節団受入事業は、国際交流推進費に2,157千円支出済み。

3. 利用状況

当館は平成8年11月3日に開館し、利用者は平成29年3月末累計で、433,351人となった。平成28年度は開館日数314日、入館者数9,885人であった。

利用者数は、前年度と比べ0.5%の増加となった。今後とも、館活動の情報発信の強化やチューリップまつり等と誘客の連携を図るなど、入館者増に努めていく必要がある。

【平成 24 年度(開館日:309 日)】

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
協力会地区	26	41	68	24	28	54	33	28	19	18	26	47	412
一 般	566	702	327	225	305	327	376	492	196	153	229	502	4,400
高、大	7	15	3	6	10	1	15	2	0	2	8	4	73
小、中	47	51	8	19	31	5	8	13	4	5	24	91	306
その他	906	722	554	500	543	420	280	540	222	318	803	756	6,564
計	1,552	1,531	960	774	917	807	712	1,075	441	496	1,090	1,400	11,755
1 日平均	55	57	37	29	35	31	27	41	19	21	45	52	38

【平成 25 年度(開館日:305 日)】

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
協力会地区	41	36	34	21	35	73	28	32	41	10	26	60	437
一 般	634	421	289	197	353	316	228	510	139	140	199	362	3,788
高、大	4	14	12	1	39	5	1	7	1	2	3	7	96
小、中	57	24	6	17	58	13	5	4	6	14	20	47	271
その他	728	508	488	406	622	347	512	432	221	468	748	585	6,065
計	1,464	1,003	829	642	1,107	754	774	985	408	634	996	1,061	10,657
1 日平均	54	39	32	25	40	29	30	38	20	28	42	39	35

【平成 26 年度(開館日:308 日)】

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
協力会地区	49	50	20	12	27	39	26	16	8	10	18	61	336
一 般	620	288	313	246	394	216	332	534	124	89	177	332	3,665
高、大	13	11	1	2	15	3	15	7	1	4	19	8	99
小、中	58	24	7	10	51	13	4	18	4	5	25	44	263
その他	769	323	268	337	617	364	354	578	256	464	800	524	5,654
計	1,509	696	609	607	1,104	635	731	1,153	393	572	1,039	969	10,017
1 日平均	56	26	23	23	41	24	28	44	17	25	43	36	33

【平成 27 年度(開館日:313 日)】

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
協力会地区	29	42	47	42	16	41	60	37	19	27	7	43	410
一 般	549	274	155	135	258	244	220	350	173	145	203	373	3,079
高、大	1	12	7	6	62	17	16	53	36	2	6	13	231
小、中	47	19	3	9	34	15	8	11	6	5	23	47	227
その他	395	453	217	300	353	214	300	1,406	332	421	728	774	5,893
計	1,021	800	429	492	723	531	604	1,857	566	600	967	1,250	9,840
1 日平均	38	29	17	18	27	20	22	71	23	26	39	48	31

【平成 28 年度(開館日:314 日)】

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会地区	27	34	43	35	28	34	29	12	13	8	19	81	363
一 般	447	188	144	333	420	241	258	258	155	89	133	413	3,079
高、大	109	16	5	9	30	23	23	8	10	1	2	10	246
小、中	19	17	5	44	34	5	4	5	2	3	25	63	226
その他	363	201	238	353	304	237	440	1,801	244	335	614	841	5,971
計	965	456	435	774	816	540	754	2,084	424	436	793	1,408	9,885
1日平均	34	17	17	29	31	19	28	83	18	16	33	54	31

#### 4. 施設管理

##### (1) 芝生管理

敷地内に広がる芝生管理は、豊岡市シルバー人材センターなどに委託し、本年度は4回実施（内1回はシルバー人材センターのボランティア活動）した。また、管理委託のみでは十分ではないため、歩行型エンジン式芝刈機を導入し、当館職員が除草・清掃作業を行った。

また、博物館協力会や近隣地区の皆さんにも、花の植栽・管理、広場除草やフラワーガーデン設置など屋外環境の向上に協力をいただいた。

##### (2) 補修工事

男女便所の給水管から漏水が発生し修繕を行うとともに、漏水防止対策として管内水圧を下げる減圧弁設置工事を実施した。（平成28年7月）

#### 5. 博物館協力会

博物館協力会は、当館が位置する資母地区の住民から「いつまでも美しい建物にしよう」という声上がり、加藤廣巳氏と塩川剛三氏の呼びかけで、平成9年2月10日に発足した。会長は、博物館が位置している如布区長がこれにあたり、周辺地域の区長・役員や各団体の長が理事として連なる。加えて、但東地域選出市議会議員、協力会元会長及び博物館OBが顧問となる役員構成になっている。

平成28年の活動内容は以下のとおりである。

##### (1) 役員

会 長 柴原 重春

理 事 12名 顧 問 10名

（任期：平成28年1月1日～平成28年12月31日）

##### (2) 活動内容

###### ①役員会の開催

平成28年5月10日に博物館主催による役員会を開催し、博物館の事業

報告・事業計画などの説明と運営に対しての協力依頼を行った。

②芝生広場除草などのボランティア作業

敷地内芝生広場の除草や、山羊の餌の提供などに協力いただいた。

③各種事業への協力

開館 20 周年記念事業などの P R 協力や参加をいただいた。

6. 各種委員会委員などの受諾

平成 28 年度は、博物館職員が委嘱を受けている各種委員会、協会役員などはなし。

7. 博物館ネットワーク

(1) 兵庫県博物館協会

兵庫県内の博物館・美術館・資料館で構成され、平成 29 年 3 月末で 142 館が加盟し、県立歴史博物館が事務局館を務めている。

- ・平成 28 年 5 月 兵庫県博物館協会総会
- ・兵庫県博物館ガイドの作成、配布
- ・協会ホームページで夏休み子ども向けイベントの紹介
- ・展覧会案内情報更新
- ・協会ホームページの更新

(2) 但馬地域博物館連絡会

兵庫県北部に位置している但馬管内の博物館施設が、相互協力して博物館活動の振興を図るため、平成 9 年 4 月 25 日に設立され、平成 29 年 3 月末現在では 19 館が加盟している。当館は平成 9 年 4 月に加盟し、その後、幹事館となり、平成 18 年 6 月から平成 21 年 8 月まで事務局担当、その後平成 22 年度まで監事を務めた。以後、平成 31 年度まで役員就任の予定はなし。

- ・平成 28 年 7 月 8 日 総会
- ・平成 28 年 11 月 12～13 日 但馬まるごと感動市に出展
- ・平成 29 年 3 月 27 日 研修会（講演会）

8. 博物館日誌抄

平成 28 年度の主な出来事を日報から抜粋して記載する。

- 4 月 1 日 館内会議
- 4 月 5 日 茨城県自然博物館学芸員が展示貸出品打合せ来館
- 4 月 8 日 市立資母小学校入学式出席（伊崎）  
市立但東中学校入学式出席（大谷）
- 4 月 9 日 2016 たんとうチーリップまつり開園(4/12～24 期間中入館対応)
- 4 月 11 日 館前広場にゲル建て（地域 6 名、大谷、道下）
- 4 月 15 日 北近畿未来塾生来館見学（68 名）

- 4月20日 学校等&但東振興局連絡会（大谷）
- 4月24日 開館20周年記念 嵯峨治彦馬頭琴・喉歌コンサート開催（約100名）
- 5月1日 ハワリンバイタル出展（東京都練馬区光が丘公園 大谷、道下）
- 5月2日 駐日モンゴル国大使館訪問（大谷、道下）
- 5月10日 博物館協力会役員会（出席17名、大谷、道下、橋本）  
企画展「カザフの天幕-文様に込められた家族への思い-」閉展
- 5月11日 展示替作業（全職員）
- 5月17日 資母地区公民館第1回運営審議委員会（道下）
- 5月19日 屋外ゲル解体撤去作業
- 5月20日 消防設備立入検査（豊岡市消防本部）、館職員消火訓練
- 5月27日 県博物館協会総会・研修会（姫路 大谷、橋本）
- 6月2日 館内会議
- 6月4日 風鈴にお絵描き体験教室（寺坂小学校3・4年学P31名）
- 6月5日 館前芝生広場にオープンガーデン設営（開園6/5～25 そよ風）
- 6月9日 市国際交流協会但東支部役員会出席（大谷、道下）
- 6月12日 博物館協力会奉仕作業（除草 24名）
- 6月14日 歩行型エンジン式芝刈機納品  
館内ロビーにゲル（小型）設置
- 6月22日 展示替作業（全職員）
- 6月24日 第70回企画展「満州「大兵庫開拓団」と高橋村」開展（～9/20）  
ミュージアムパーク茨城県自然博物館から展示資料借受け来館
- 7月5日 神戸新聞社企画展取材来館
- 7月7日 館内会議
- 7月8日 但馬地域博物館連絡会総会（県立円山川公苑 大谷）
- 7月10日 開館20周年記念福井則之馬頭琴・喉歌トワイライトコンサート開催  
（約40名）
- 7月12日 学校等&但東振興局連絡会（大谷）
- 7月14日 資母小学校1・5・6年生来館・見学（30名）
- 7月22日 アートシーズンキックオフイベント出展（アイティ 大谷、朝倉、伊崎）
- 7月25日 夏休み体験教室「オリジナルうちわを作ろう」開催（7名）
- 7月26日 満蒙開拓平和祈念館（長野県）三沢事務局長及び元開拓団団員5名  
来館、毎日・朝日新聞社取材来館
- 7月26日 シルバー人材センター奉仕作業（除草 20名）
- 7月31日 やきもの教室（11名）  
満州開拓団員お話し会（約60名）、読売・毎日新聞取材来館
- 8月2日 館内会議
- 8月7日 満州開拓団員お話し会（約70名）、神戸・毎日新聞及び関西テレビ取  
材来館

- 8月22日 豊岡市博物館及び美術館運営委員会（出石庁舎 朝倉）
- 8月27日 日本青年会議所兵庫ブロック豊岡大会に出展（但馬空港 橋本、柴田）
- 8月29日 在モンゴル国大阪総領事館に新領事訪問（大谷、道下）
- 9月5日 学校等&但東振興局連絡会（大谷）
- 9月13日 第1回しば・モンゴル宝まつり実行委員会（大谷）
- 9月15日 モンゴル国友好訪問使節団受入ホストファミリー打合せ会（大谷、道下）
- 9月16日 市国際交流協会但東支部役員会出席（大谷、道下）
- 9月21日 展示替
- 9月25日 第71回企画展「村から町へ ～豊岡市域における「昭和の大合併」～」開展（～12/27）
- 9月27日 館内会議
- 9月29日 モンゴル国友好訪問使節団受入れ（9/29～10/4）
- 10月1日 開館20周年記念フォーラム「モンゴルと日本、ひろがる交流の未来」開催（但東市民センターホール）  
開館20周年記念祝賀会開催（ホテルシルク温泉やまびこ）
- 10月3日 第2回しば・モンゴル宝まつり実行委員会（大谷）
- 10月4日 ミュージアムパーク茨城県自然博物館から展示資料返却来館
- 10月11日 市立博物館・美術館学芸員会議（出石庁舎 朝倉、伊崎）
- 10月24日 第3回しば・モンゴル宝まつり実行委員会（大谷、道下）
- 10月27日 館内会議
- 11月5日 関西文化の日（11/5～6）  
開館20周年記念トーク&民族音楽コンサート開催（約60名）
- 11月6日 〃 「しば・モンゴル宝まつり」地域と共催、「TANTOの夜空と共に」市商工会青年部但東支部開催（後援）（約1,500名）
- 11月8日 安国寺どうだんつつじ一般公開（11/8～20）期間中入館対応
- 11月10日 神戸市シルバーカレッジ生来館見学（25名）
- 11月14日 学校等&但東振興局連絡会（大谷）
- 11月27日 草原の風2016モンゴル秋祭出展（大阪市西区靉公園 大谷、道下）
- 12月4日 やきもの教室（13名）
- 12月8日 館内会議
- 12月21日 資母地区公民館第2回運営審議委員会（大谷）
- 1月12日 コープこうべ機関紙「ステーション」記事取材来館  
館内会議
- 1月15日 どんど焼き&雪まつり
- 1月23日 ホストタウン会計実地検査（会計検査院第5局特別検査課 大谷、道下）
- 1月24日 学校等&但東振興局連絡会（大谷）

- 2月13日 館内会議
- 2月17日 市立博物館美術館連携事業打合せ会（朝倉、伊崎）
- 2月21日 モンゴル国ボクシング連盟代表事前視察来館（2/21～23）
- 2月26日 在大阪モンゴル国総領事以下13名来館
- 3月3日 豊岡市博物館及び美術館運営委員会（日高庁舎 大谷）
- 3月5日 2017 まるごとモンゴル雛まつり（博物館内 約530名）
- 3月23日 市立資母小学校卒業式出席（道下）  
市立博物館・美術館学芸員会議（出石庁舎 朝倉、伊崎）  
資母地区公民館第3回運営審議委員会（大谷）

## 9. お客様の声（抜粋）

今年度も、兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科及び豊岡市が実施するアンケート調査施設として協力し、当館固有のアンケート調査は実施していなかったが、今年2月より再開した。

◎2月26日 兵庫県養父市（10歳未満 女性）

学校で「スーホの白い馬」を勉強して先生に馬頭琴があると聞いて来ました。教えてもらって弾けるとは思わなかったけど弾けてよかったです。

◎3月19日 兵庫県豊岡市（10歳未満 女性）

出前授業でわたしは、代表で服（民族衣装）を着ました。一着しか着れなかったです。でもモンゴル博物館には、いっぱい服があっていっぱい着ました。

◎3月25日 京都府宮津市（40代 女性）

素敵過ぎて言葉になりません。何度か通ってみたいです。

## 10. 日本・モンゴル民族博物館の設置 及び管理に関する条例

平成 17 年 4 月 1 日  
条例第 179 号

改正 平成 19 年 12 月 26 日 条例第 66 号  
平成 26 年 3 月 28 日 条例第 8 号  
平成 27 年 3 月 27 日 条例第 14 号

(設置)

第 1 条 市民文化を振興し、文化活動の拠点とするとともに、モンゴル文化及び郷土の生活文化の紹介、体験交流等を通して魅力ある地域づくりを図るため、豊岡市立日本・モンゴル民族博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

(位置)

第 2 条 博物館の位置は、豊岡市但東町中山 711 番地とする。

(事業)

第 3 条 博物館は、第 1 条に規定する目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 博物館の資料の収集、保管及び利用に関すること。
- (2) 博物館の資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (3) 博物館の施設の利用に関すること。
- (4) 博物館の資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導をすること。
- (5) 博物館の資料に関する専門的及び技術的な調査研究に関すること。
- (6) 他の博物館等との相互協力に関すること。
- (7) 郷土の生活文化の紹介及び体験交流に関すること。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な事業

2 市長は、博物館の施設を、前項の事業の実施に支障のない限りにおいて、その目的以外の目的のために使用させることができる。

(職員)

第 4 条 博物館に、館長その他職員を置く。

(観覧料)

第 5 条 博物館に展示している資料を観覧しようとする者は、別表第 1 に定める額の観覧料を納付しなければならない。

(特別観覧料)

第 6 条 博物館に展示し、又は保管している資料について学術研究等のために模写、模造、撮影等をしようとする者は、市長の許可を受け、1 点 1 回につき

2,000 円の範囲内で規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。

(使用の許可)

第 7 条 別表第 2 に掲げる施設を使用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、前項の許可に博物館の管理上必要な条件を付し、又はこれを変更することができる。

(許可の基準)

第 8 条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第 1 項の許可をしてはならない。

- (1) 博物館の施設の使用が公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 博物館の施設の使用が博物館の建物、器具、備品等（以下「建物等」という。）を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがあると認めるとき。
- (3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団その他反社会的団体又はそれらの構成員が使用すると認めるとき。
- (4) 前 3 号に掲げるもののほか、市長がその使用を不相当であると認めるとき。

2 市長は、博物館の管理上又は公益上支障があると認めるときは、前条第 1 項の許可をしないことができる。

(使用権の譲渡等の禁止)

第 9 条 第 7 条第 1 項の規定により施設の使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、その権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(許可の取消し等)

第 10 条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、許可を取り消し、又は施設の使用の制限をし、若しくは使用の停止を命ずることができる。

- (1) 使用者がこの条例若しくはこの条例に基づく規則又はこれらに基づく指示に違反したとき。
- (2) 使用者が許可された使用目的以外の目的に施設を使用したとき。
- (3) 使用者が許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 使用者が詐欺その他不正の行為により許可を受けたとき。
- (5) 第 8 条第 1 項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

2 市長は、博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたときは、使用者に対し、前項に規定する処分をすることができる。

(使用料の徴収)

第 11 条 市長は、第 7 条第 1 項の許可を受けてする施設の使用につき、使用者から、別表第 2 に定める使用

料を徴収する。

(観覧料等の減免)

第 12 条 市長は、公益上特に必要があると認めるときは、申請により、観覧料、特別観覧料及び使用料（以下「観覧料等」という。）を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第 13 条 既に納めた観覧料等は、還付しない。ただし、第 10 条第 2 項の規定により教育委員会が博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたとして同条第 1 項に規定する処分をしたとき、その他市長が特別の理由があると認めるときは、申請により、その全部又は一部を還付することができる。

(入館の制限等)

第 14 条 市長は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、博物館への入館を拒絶し、又は博物館からの退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがある者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある物品若しくは動物の類を携帯する者
- (3) 建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがある者
- (4) 前 3 号に掲げるもののほか、博物館の管理上必要な指示に従わない者

(行為の禁止)

第 15 条 何人も、博物館内において、博物館の管理上支障がある行為をしてはならない。

(原状回復の義務)

第 16 条 使用者は、博物館の施設の使用を終了したとき、又は第 7 条第 1 項の許可を取り消されたときは、直ちに施設を原状に回復しなければならない。

2 市長は、使用者が前項の義務を履行しないときは、その原状回復に必要な措置を採るべきことを命ずることができる。

(損害の賠償等)

第 17 条 博物館の建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させた者は、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長は、特別の事情があると認めるときは、その賠償額を減額し、又はこれを免除することができる。

(委任)

第 18 条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日の前日までに、合併前の日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理運営に関する条例（平成 8 年但東町条例第 21 号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

(観覧料の特例)

3 第 5 条の規定は、平成 17 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日までの間においては、合併前の出石郡但東町の区域に居住する者が博物館を観覧するときは、適用しない。

附 則（平成 19 年 12 月 26 日条例第 66 号）

(施行期日)

1 この条例は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例別表第 2 の規定は、この条例の施行の日以後に使用許可を受ける者の使用料について適用し、同日前に使用許可を受けている者の使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成 26 年 3 月 28 日条例第 8 号）

(施行期日)

1 この条例は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 27 年 3 月 27 日条例第 14 号）

(施行期日)

1 この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

別表第 1（第 5 条関係）

区 分	観覧料（1 人 1 回につき）		備 考
	個 人	20 名以上の団体	
一 般	500 円	450 円	「一般」とは学生、中学生又は小学生以外の者で、15 歳以上のものをいい、「学生」とは大学、高等学校及びこれらに準ずる学校の学生及び生徒をいう。
学 生	300 円	250 円	
小学生・中学生	200 円	150 円	

別表第 2（第 7 条、第 11 条関係）

区 分	使 用 料		
	午前 9 時から午後零時まで	午後 1 時から午後 5 時まで	午後 6 時から午後 10 時まで
企画展示室	1,500 円	2,000 円	
体験交流室	1,200 円	1,600 円	1,600 円
天幕住居（ゲル）	1 基につき 5,000 円		
備考	1 冷暖房を使用する場合は、この表に規定するそれぞれの額の 3 割に相当する額を加算する。 2 電気釜の使用料は、1 回当たり 1,000 円とする。		

## 11. 施設概要

### (1) 本館建設概要

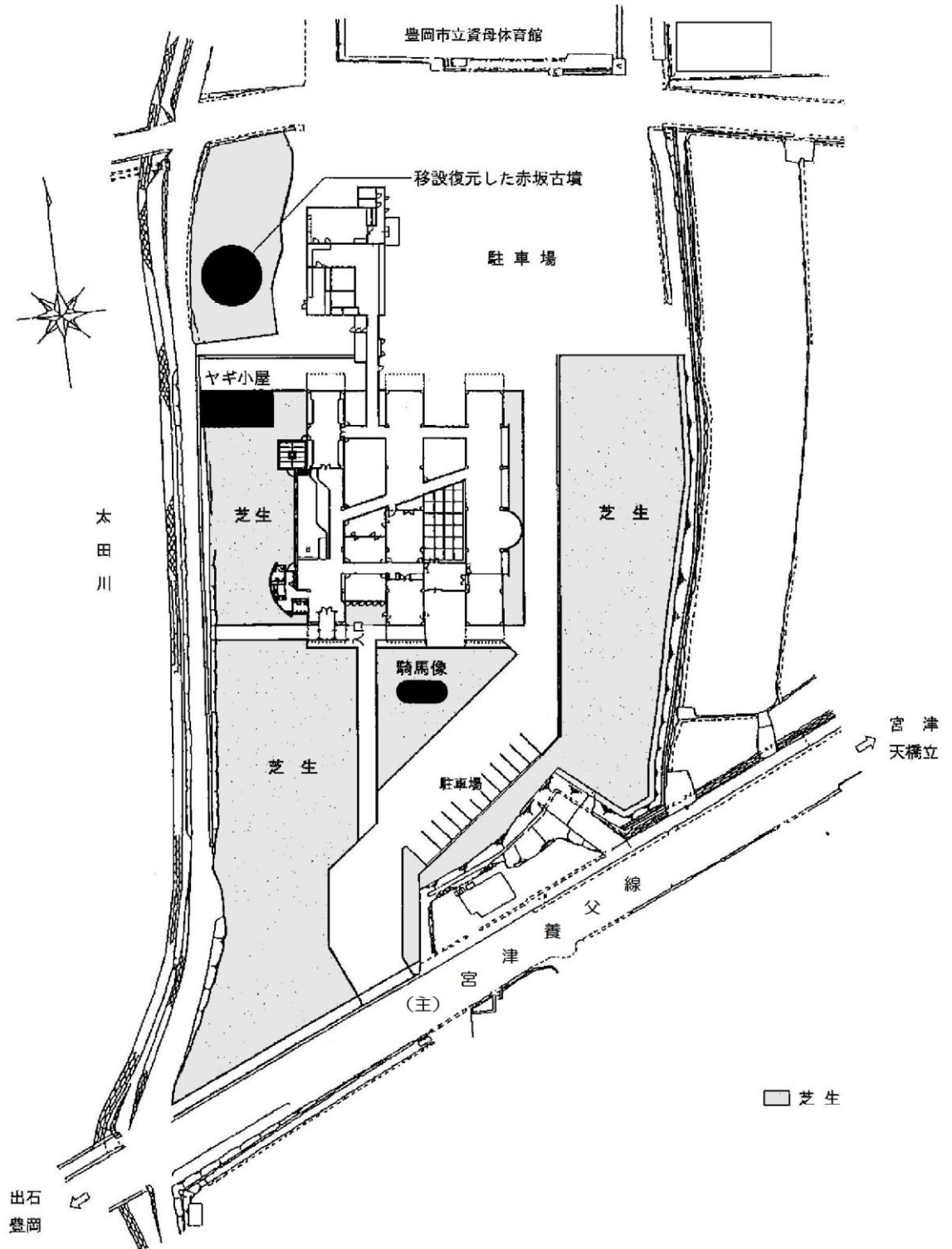
位 置	兵庫県豊岡市但東町中山 711
基本設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
実施設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
工事施工	建物 川嶋・井田・マルテン特別共同企業体 展示 株式会社さんよう
工 期	建物 着工 平成7年12月14日 竣工 平成8年8月12日 展示 着工 平成8年5月7日 竣工 平成8年10月30日
敷地面積	10,402.84 m <sup>2</sup>
建築面積	999.65 m <sup>2</sup>
構造概要	鉄筋コンクリート造 フッ素樹脂塗装鋼板瓦葺葺 立体トラス鉄骨 (KTトラス)
各室面積	玄関ホール・たんとうの森 211.6 m <sup>2</sup> 、 収蔵庫1 54.6 m <sup>2</sup> 、収蔵庫2 56.5 m <sup>2</sup> 、 荷解室 33.3 m <sup>2</sup> 、応接室 28.0 m <sup>2</sup> 、 事務室 33.3 m <sup>2</sup> 、資料整理室 48.2 m <sup>2</sup> 展示室「アジアの歴史」 75.7 m <sup>2</sup> 展示室「モンゴル草原の暮らしと文化」 206.8 m <sup>2</sup> 展示室「チベット仏教」37.7 m <sup>2</sup> 企画展示室 74.4 m <sup>2</sup> シルクロード(回廊)1 13.3 m <sup>2</sup> 、シルク ロード(回廊)2 13.3 m <sup>2</sup> 、シルクロード(回 廊)3 12.6 m <sup>2</sup> 、シルクロード(回廊)4 12.6 m <sup>2</sup>

建物規模	平屋建て 東西 41.8m 南北 42.5m 地上高 9.0 m 〈外装〉複層吹付
仕 上 げ	〈内装〉床 :モルタル下地タイルカー ペット貼 壁 :山本窯業化学テラックス、 石膏ボード、化粧合板 天井:杉小幅板、岩綿吸音板貼

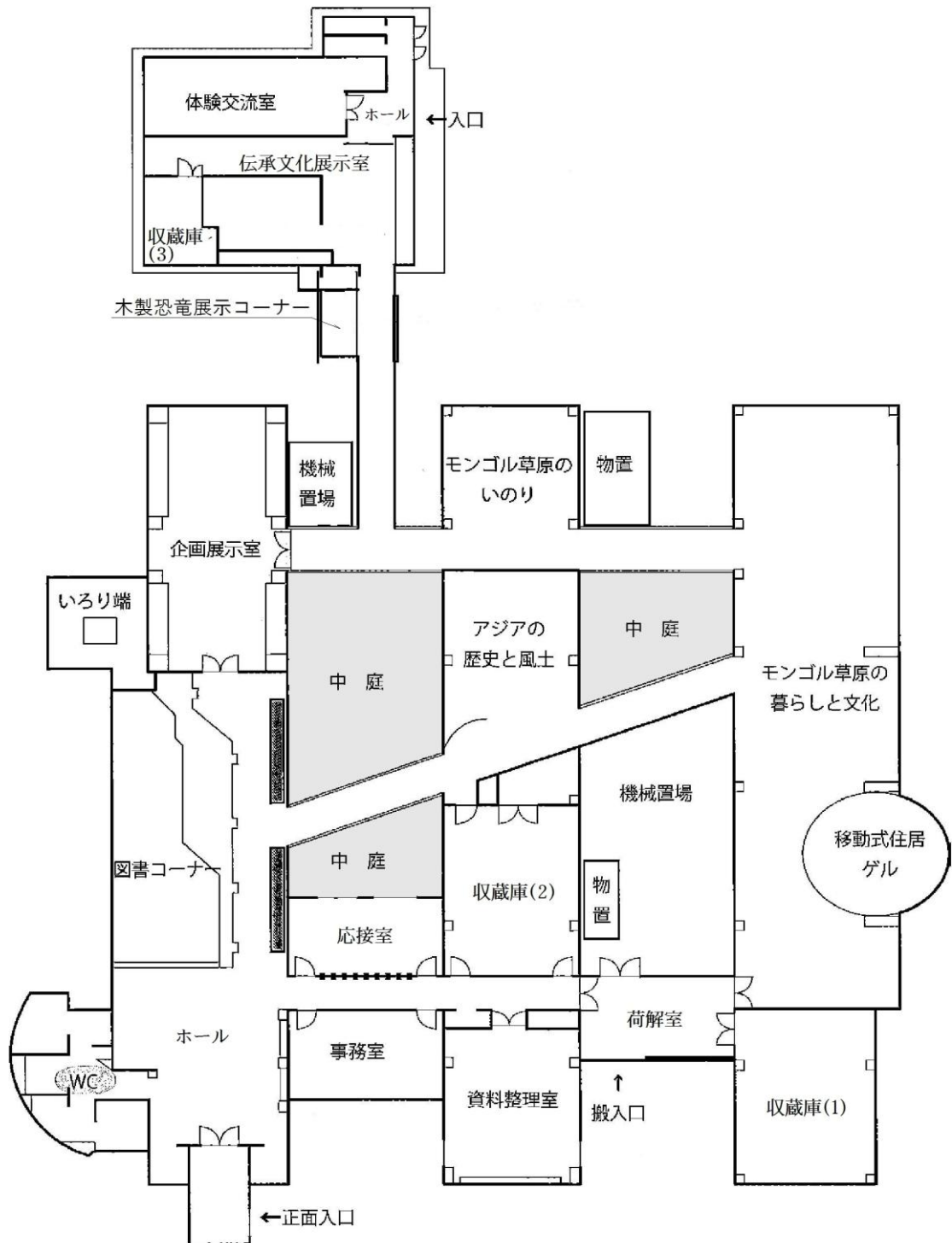
### (2) 伝承文化体験交流館建設概要

位 置	兵庫県豊岡市但東町中山 711
基本設計	建物・展示 井上良一建築設計事務所
実施設計	建物・展示 井上良一建築設計事務所
工事施工	建物 株式会社マルテン 展示 株式会社ナギサ建築工芸
工 期	建物・展示 着工 平成11年9月14日 竣工 平成12年3月29日
敷地面積	317.57 m <sup>2</sup>
構造概要	一部鉄筋コンクリート造 木造瓦葺
各室面積	体験交流室 62.6 m <sup>2</sup> 、展示室「豊岡市 たんとうの暮らしと文化」 112.5 m <sup>2</sup> 、 シルクロード(回廊)5 36.4 m <sup>2</sup> 、収蔵 庫 27.2 m <sup>2</sup>
建物規模	平屋建て 東西 12.8m 南北 21.2m 地上高 7.1 m
仕 上 げ	〈外装〉押出形成セメント板 〈内装〉床 :モルタル下地タイルカー ペット貼 壁 :ビニルクロス貼 一部杉 板張 天井:化粧PB張 一部杉板張

(3) 配置図



(4) 館内図



## 12. 交通案内



- JRで（山陰線）  
豊岡駅よりバスで約60分 出石で乗り換え（奥藤行き）モンゴル博物館前下車
- お車で  
大阪・神戸方面…舞鶴若狭自動車道  
福知山ICより約60分  
京都方面…京都縦貫自動車道～宮津与謝道路  
与謝天橋立ICより30分  
姫路方面…播但連絡道路～北近畿豊岡自動車道 和田山八鹿道路 八鹿氷ノ山ICより約60分

## 13. 利用案内

- 開館時間 9時30分～17時  
(入館は16時30分まで)
- 休館日 水曜日(祝日の場合は翌日)  
年末年始(12月28日～1月4日)  
展示替えによる臨時休館
- 入館料 一般 500円(450円)  
高校・大学生 300円(250円)  
小学・中学生 200円(150円)

※( )内は20名以上の団体の場合  
 ※障害者手帳をお持ちの方は各料金の半額  
 ※65歳以上の方は半額  
 ※兵庫県内の小・中学生はココロンカードの提示により無料

**豊岡市立日本・モンゴル民族博物館年報第18号**

**Annual Report of the Japan Mongolia Folk Museum  
No.18 (for the fiscal years of 2016)**

〒668-0345 兵庫県豊岡市但東町中山711

711 Nakayama, Tanto-town, Toyooka-city, Hyogo Pref. 668-0345 Japan

TEL 0796-56-1000 FAX 0796-56-1022

URL <http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>

E-mail [monpaku@city.toyooka.lg.jp](mailto:monpaku@city.toyooka.lg.jp)

**発行／豊岡市立日本・モンゴル民族博物館**

平成 29 年 3 月 31 日発行